

おばま

市議会だより



(保育園入園式「在園児の歓迎」：西津保育園にて)

平成18年4月25日

No. **107**

編集・発行 小浜市議会広報委員会

主な内容

- 平成18年度当初予算を可決しました・・・・・・・・・・ P2
- 3月定例会の結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P2～P3
- 3月定例会の一般質問・・・・・・・・・・・・・・ P4～P6
- 民生文教常任委員会が所管事務調査を開始・・・・・・・・ P7
- 対策委員会を設置しました・・・・・・・・・・・・ P8

http://www.city.obama.fukui.jp/gikai/frame_top.htm

18年度一般会計予算額 147億9,001万9千円

(小浜市民一人あたり 約45万0,340円)

平成18年4月1日現在人口32,842人

※かつこ内は市民一人あたりの金額。十円未満の端数は調整してあります。

矢印の意味 (対前年度比) -10%~ -5~-10% ±5% +5~+10% +10%~	消 防 5億3,214万円 (16,200円)	農林水産 14億8,974万円 (45,360円)	総 務 17億3,512万円 (52,830円)	
	議 会 1億9,544万円 (5,950円)	商 工 10億0,182万円 (30,500円)	民 生 29億1,607万円 (88,790円)	
	公 債 17億6,143万円 (53,630円)	土 木 17億0,532万円 (51,920円)	衛 生 16億1,716万円 (49,240円)	
	参考：市税 34億5,246万円 (105,120円)	教 育 16億0,121万円 (48,750円)	労 働 2億2,457万円 (6,840円)	

平成18年第2回(3月)定例会において平成18年度小浜市一般会計予算を可決しました。

本年度は小浜小学校、不燃物処理施設の2大施設の本体建設に着手することに加え、社会保障費の大幅な伸びから、一般会計では5年ぶりに対前年度プラス予算(対前年度比11.6%増)となりました。その結果、一般会計、特別会計等の予算総額は過去最高となるなど、昨年までの緊縮路線から一転し、大型予算となりました。

各費目の予算規模は次のとおりです。

平成18年度当初予算案を可決しました

3月定例会の結果について

3月定例会日程	
6日	本会議 会期決定 補正予算議案等上程・質疑・採決 当初予算議案等上程
7日	本会議 質疑・委員会付託
8日~13日	休 会
14日	一般質問
15日	一般質問
16日~23日	休 会(委員会審査)
24日	本会議 常任委員長報告・質疑・討論・採決 追加議案上程・質疑・討論・採決

議 案 47件

内 訳

◀3月6日議決分▶

- ・補正予算 11件(原案可決)
(17年度一般会計歳入歳出総額を15,307,178千円にほか)

◀3月24日議決分▶

- ・当初予算 12件(原案可決)
一般会計…歳入歳出総額を14,790,019千円に
特別会計…国民健康保険事業特別会計はじめ9会計の歳入歳出総額を12,237,810千円に
事業会計…国民宿舎事業会計はじめ2会計の歳入歳出総額を987,566千円に
- ・補正予算 2件(原案可決)
(17年度一般会計歳入歳出総額を15,314,099千円にほか)
- ・条 例 15件(原案可決)
(小浜市部設置条例の一部改正についてほか)
- ・人事案件 1件
(固定資産評価審査委員会委員の選任について)
- ・その他 6件
(福井県議会議員選挙事務の委託の廃止についてほか)

平成18年第2回定例会は、3月6日から24日までの19日間の会期で開催しました。今定例会では、開会初日に補正予算を議決したほか、新年度当初予算案ならびに条例案などが提案され、委員会審査の後それぞれ議決し、最終日に追加提案された議案等についても議決し閉会いたしました。

議決の内容は次のとおりです。

陳 情 3件

【不採択】

- 最低保障年金制度の創設を求める陳情
陳情者 全日本年金者組合 敦賀支部
執行委員長 松永 紘
- 「公共サービスの安易な民間開放は行わず、充実を求める意見書」提出に関する陳情
陳情者 福井県国家公務員労働組合共闘会議
議長 水野 富士夫
- 最低賃金制度の改正を求める陳情
陳情者 福井県労働組合総連合
議長 平澤 孝 ほか1名

**固定資産評価審査委員会
委員の選任に同意**

東野 さち糸 氏
(小浜市府中) ※再任

3月定例会常任委員会 主な審査の概要

企画総務常任委員会

上野 精一 委員長

●平成18年度小浜市一般会計予算について

Q 予算編成方針の中で「行政の役割分担を明確化し、受益と負担の見直しを行う」とあるが、どのように反映したのか？

A 役割分担の明確化については、事務事業評価を進めるなど、市民の理解を得ながら市が行うべきことを行い、小さな市役所を目指していく。主な受益と負担の見直しとしては、国民健康保険、介護保険料の見直しを行った。

Q 今後における「三位一体の改革」の影響は？

A 18年6月に「骨太の方針2006」が提出される予定になつており、そこで地方交付税の今後の方向性が示される。現段階では詳細は不明。

Q 山川登美子記念館整備事業について、改修規模と駐車場の確保については？

A 明治40年の建築物のため、基礎の補強を行い、展示室・トイレなど全体の4分の1の改修を行う。駐車場については、近隣に適当なスペースの確保を検討したい。

●討論は次のとおりです。
以下の議案について反対。
議案第15号 小浜市一般会計予算中、自衛官募集事務経費

および国民保護事務経費

議案第28号 小浜市一般職の職員給与に関する条例の一部改正について

議案第34号 小浜市国民保護協議会条例の制定について

●平成18年度小浜市一般会計予算について

Q コウノトリを戻す環境整備事業の対象地域の選定理由とコウノトリとの関連性は？

A 対象範囲や規模、維持管理の実績、コウノトリとのゆかりなどの点から対象地域を決めた。

Q 毎年度の区長要望に関し、18年度の対応は十分か？

A 新年度については十分とはいえないまでもそれなりに対応できる予算を計上した。

●意見
商工業振興費の各種事業補助金について、補助事業の事業主体が商工会議所であるものについては、その補助基準はもとより事業内容についても明確にし、広く市民への説明責任を果たされたい。

まちづくり常任委員会

井上 万治郎 委員長

●平成18年度小浜市一般会計予算について

Q コウノトリを戻す環境整備事業の対象地域の選定理由とコウノトリとの関連性は？

A 対象範囲や規模、維持管理の実績、コウノトリとのゆかりなどの点から対象地域を決めた。

Q 毎年度の区長要望に関し、18年度の対応は十分か？

A 新年度については十分とはいえないまでもそれなりに対応できる予算を計上した。

●意見
商工業振興費の各種事業補助金について、補助事業の事業主体が商工会議所であるものについては、その補助基準はもとより事業内容についても明確にし、広く市民への説明責任を果たされたい。

民生文教常任委員会

風呂 繁昭 委員長

●平成18年度小浜市一般会計予算について

Q 障害者自立支援法制度改正のメリット、デメリットは？

A 支援費制度のもとでは財源が確保できず制度の維持ができないことが背景にある。デメリットは障害者に対し原則一律負担を求めると、メリットは三障害を一元化し、全国一律サービスを受けられること。

Q 国保事業、老人医療、介護事業などへ一般会計からの繰り出しが増えているが、その抑制策は？

A 食生活改善推進を例にとつても、関係課が集まり検討すべ

き。最終的には、食のまちづくりが医療費を抑制することに繋がるような取り組みになるようにしたい。

Q 火葬場の今後は？

A 建て替え目標を平成22年度とし、PFIを視野に入れて検討したい。広域化も必要で、嶺南一体を視野に入れた検討も必要。

Q 清掃センターの解体時期、費用は？

A 平成20年度に解体予定。解体費用は以前の半額程度(約1億5000万円)になり、基金があり財政的なメドもつてきている。

●国民健康保険事業について

Q 見直し後、所得割と資産割を40:10とした理由は？

A 今までは、大きな資産をもつていた方で所得が無くても保険税が高額になるケースがあり、不満が多いことに配慮した。

●意見
政策として食のまちづくりを進めているが、担当部局、分野により取り組みがバラバラであり、保健、医療、農業、教育など一貫した政策の取り組みをされたい。また、食育は全国的に評価されているが、産業への波及等も把握し、きちっとした政策展開をされたい。

臨時会の議決結果

2月2日に平成18年第1回(2月)臨時会を開催しました。臨時会では、長年の懸案事項となつていた小浜市立小浜小学校の事業用地の取得に関する議案のほか、2件の専決処分の議決を行いました。その後、欠員となつていた公立小浜病院組合議会議員の選挙を行い、小堂清之議員が当選されました。臨時会の結果は次のとおりです。

議案 3件

- 専決議案 2件 (ともに原案承認)
 - 専決処分につき承認を求めることについて (平成17年度小浜市一般会計補正予算 (第8号および第9号))
- その他 1件 (原案可決)
 - (財産の取得について：小浜小学校建設事業用地として取得。取得面積16,000㎡、取得金額10億円)
- 公立小浜病院組合議員選挙 当選者 小堂清之議員